

令和2年4月27日

自由民主党
政務調査会長 岸田 文雄 殿
政務調査会長代理 田村 憲久 殿

日本医師会
会長 横倉 義武

新型コロナウイルス感染症の初期入院患者に対する
アビガンの投与について（要望）

新型コロナウイルス感染症はその特徴として、急速に症状が進行し重症化する症例が報告されております。

とくに高齢者のほか、高血圧などの循環器疾患、糖尿病、あるいは喘息やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）などの呼吸器疾患、がん、各種免疫不全などの基礎疾患を有する者は重症化しやすい傾向にあり、これらハイリスク者には、より早期に対応することが極めて重要と考えます。

現時点では、新型コロナウイルス感染症を適応症とした治療薬が開発中の段階であるという状況のなかで、新型又は再興型インフルエンザ治療薬であるファビピラビル（アビガン）の早期投与により症状の改善が見られた症例が報告されています。加えて、アビガンは一定量備蓄されています。

このような状況に鑑み、投与禁忌、副作用、基礎疾患治療のため服薬中の他剤との相互作用などに十分に注意することを前提とし、備蓄されているアビガンを活用し、入院初期の上記ハイリスク者に対する投与を政府与党として積極的に推進していただきますようここに要望いたします。